

令和6年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県央会場

科目 ①放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容

- ◆ 講義の中で適切な遊びを重視することが大事であるとの話があったが、子どもたちにどのような遊びを提供できるか考えることができた。ただ遊ぶ訳ではなく、何か目的を持ち遊ぶことも大切になってくると感じた。友達と何か目的を持って遊ぶことも大事なことだと考えているので、子どもたちが目的を持って遊べる場所の提供をしていけるようにしていきたいと感じている。学童クラブの生活だけではなく、生活の場でのルールなどを一緒に教えながらどのように行動していけば良いのかを考え教えていける場を提供していきたいと感じた。
- ◆ 児童数が減少している中で、放課後児童クラブの利用者数が増加していることから、家庭を取り囲む社会の変化等により、いかにニーズが増えているかを実感した。学校生活と同等若しくはそれ以上の時間を過ごす場を運営するにあたり、専門的な資格や技能をもった人材の重要性と、それに伴う責任の大きさについて、改めて理解した。準国家資格としてその知識をしっかりと現場に還元していかなければならない。
- ◆ 講師より、少し前の映像との旨をお聞きしてから視聴したが、制度内容が意外と早いサイクルで改正されることに驚きました。その都度確認し、省令で定める基準を踏まえる大切さ、地域のニーズにも対応する大切さを理解しました。積極的に家庭の様子、学校での様子をお聞きし、連携を取りながら何かあれば対処し、学童教室で安心して遊んだり生活出来るよう、支援に努めていきたいと思いました。
- ◆ 放課後児童クラブの設置の目的は、勉強をすることではなく適切なそれぞれの学年にあった遊び及び生活の場を与えて健全な育成を図ることだと学んだ。また、現在の秋田県内の放課後児童クラブの状況として、全児童数は減少しているが、登録児童の数は増加しており、3人に1人が児童クラブに登録しているということも学んだ。これから先、さらに登録児童数は増えていくと思われるので、健全な育成について、しっかり学び、考え、実践していきたい。
- ◆ 少子化に反して、ニーズの高い事業であると分かった。学校、家庭以外の子どもの居場所の確保は、成長過程で大切であると感じた。社会のニーズに合わせて、法律や条件が変わるので、常にアンテナをはり、状況に合わせて対応していかなければいけないと思った。今後家族の形や社会の状況に合わせて、ニーズがどんどん変化していく業界だと思うので、頭の中を常にアップデート出来る状態にしておきたいと思う。